

北総版 授業力向上のポイント

必見

～授業の前に確認するはじめの一步～



授業力向上のために、ぜひ確認してほしい
ポイントです。日々の授業で活用してみましょう。

図画工作科

チェックを
入れてみよう。

1 安全指導と活動時間の計画を立てましょう。



- 用具によっては、安全指導が必要になります。安心して活動できるように計画をしましょう。
- 活動時間（見いだす〔イメージを広げる〕→表現〔活動〕→片付け→まとめなど）を適切に区切り、集中力を維持しながら飽きることなく取り組める環境づくりをしましょう。
- ・図画工作科で扱う材料や用具（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zukou/index.htm

小学校図画工作科の授業で使用する材料や用具について、授業前の準備や授業後の片付けの際などに役立つアイデア、授業を円滑に進めるための工夫やアドバイスなどが紹介されています。



2 児童の発想（イメージ）を引き出す工夫を考えましょう。



- 低学年であれば、幼稚園等でどのような造形的な遊びをしてきたかを参考にした作品を例示し、感じたことや想像したことなどを児童がイメージを引き出しやすい工夫をしましょう。
- イメージを広げやすい環境（用具や活動場所）を整えましょう。
- 作品などからそのよさや美しさなどを感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深められる鑑賞の場は、どこに配置するのがよいかを検討しましょう。場の選定が難しい場合は、学習用端末でも代用できないか考えましょう。



3 多様な評価方法にICT機器を活用しましょう。



- 単独であったり、協力したりするなど活動形態が多様になる場合は、一人一人が何を感じ考え、活動しているのか、多様な評価方法（児童の反応やノート、ワークシート、作品等）を用い、適切な場面を捉えて評価していくことが大切です。
- ICT機器を活用して、活動の途中の段階や特徴的な様子などの記録を残すなどして学習状況を把握し、評価や今後の手立てを考えましょう。学校の実態や題材に合わせて、適宜活用することが大切です。

- ・「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（図画工作科）

https://www.nier.go.jp/kaihatsu/pdf/hyouka/r020326_pri_zugak.pdf

